

第1回第2次防府市図書館サービス振興基本計画策定協議会 会議記録

□開催日時 令和2年7月27日（月）午前11時～12時00分

□開催場所 市役所1号館3階第1会議室

□出席人数 9人

□概要 (発言要旨の文書表現は、簡略化しています)

◎資料確認

1. 教育長挨拶
2. 委員自己紹介・事務局自己紹介
3. 会長・副会長選出
4. 議題「第2次防府市図書館サービス振興基本計画」(案)について

《事務局》

資料1 策定スケジュールについて

今回の会議は、資料に対する疑問点や意見をお聞きし、計画の基本項目や流れをご説明する。今後の流れは、本日の会議後、修正および意見連絡票にご意見をいただき、素案を作成し、再度ご意見をお聞きする。第2回目の会議を10月頃行い、素案について協議。その後も意見聴取、素案の修正を行い、12月に市議会、教育委員会でパブリックコメント実施前の説明をし、12月～1月にパブリックコメントを実施。その意見を盛り込み、2月に第3回の策定協議会を開催し、計画を完成させる予定。

資料2 第2次防府市図書館サービス振興基本計画の策定について

(1) 策定の目的

第1次防府市図書館サービス振興基本計画は、平成28年3月に策定され、防府図書館は、平成28年4月1日から、公益財団法人防府市文化振興財団を指定管理者として運営を開始した。現在5年目に入っているが、図書館はこの「第1次防府市図書館サービス振興基本計画」にそって運営をしており、毎年自己評価を行いながら、それに対しては図書館協議会でご意見等をお聞きし、図書館サービスの向上に日々努めている。

(2) 計画の期間

令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）（5年間）

(3) 計画の位置づけ
(4) 策定体制 } 資料の通り。

(5) 計画の基本方針

第2次計画も、図書館サービスの理念である、「私たちの目指す図書館像—防府図書館の任務と目標—」を継続しつつ、図書館サービスの環境と体制に関して整備・充実を

することと、利用者のニーズが多様化する中でのサービスの質的充実を図ることを基本方針として考えたい。図書館サービスの更なる発展のため、ご審議をお願いしたい。

3ページは、計画の柱である「私たちの目指す図書館像―防府図書館の任務と目標―」をまとめている。この「私たちの目指す図書館像」に沿って、第2次計画を考えたい。

4・5ページは、骨子案であり、第2次計画の目次となる。

「私たちの目指す図書館像」の大項目に沿って項目立てをしている。

- 第1章 今回の計画の趣旨・理念・位置づけ・期間・対象
- 第2章 第1次計画における取組・成果について、理念の大項目7つに沿ってまとめたもので、本日の資料3になる。
- 第3章 施策の方向と具体的な取組。理念の大項目7つと18の事柄に沿ってまとめたもので、本日の資料4になる。
- 第4章 計画の推進体制とし、その後資料編とする予定。

【質疑応答・意見】

(委員) 第1次計画について、図書館協議会で毎年点検・評価していただいておりますが、項目は重なっているところもあるが、変えるのは難しいだろう。全体の構成としては、1次計画を継続発展していく計画となると思う。

資料3 第1次計画における取組・成果(案)

《事務局》

第1次計画に対する取組・成果となっている。数値は推移が分かるように、平成27年度または28年度から令和元年度までを記載。表はなるべく2ページにまたがないようにしている。注釈が足りていない所など、ご意見いただきたい。

大項目がページの先頭から来るように作成。空いたスペースには、図書館サービスに関連した写真を入れることで対応予定。

【質疑応答・意見】

(委員) 1ページ (注1)「電子書籍」の注釈があるが、本文に記述がどこにあるか？

《事務局》 記述はない。注は削除する。

(委員) 8ページ 「パスファインダー」の注釈が必要ではないか

《事務局》 追加する。

(委員) 「関係機関や専門機関への紹介業務」の後に(レフェラルサービス)と入れるとよい。

《事務局》 追加する。

(委員) 10 から 11 ページにかけて、サークル名が並べてあるが、「一般向け・子ども向け」にそれぞれまとめると分かりやすいのではないか。ランダムに並べてあるのか？

《事務局》 今はランダムに並んでいるので、大人向け子ども向けに分けて記載する。

(委員) 性質が全く違い、学習グループに入らないものもあるので、それも考慮してほしい。

《事務局》 承知した。

(委員) 7 ページ (注3)「乃至」が分かりにくい。

《事務局》 ひらがなに変える。

(委員) 14 ページの相互貸借実績の表で、国立国会図書館は「県外の図書館(その他)」に含まれているのか。

《事務局》 「県外の図書館(その他)」に含まれるが、分けて出したほうがよいか。

(委員) そのほうがよい。

《事務局》 件数を確認して、国立国会図書館は別に記載することとする。

(委員) 注釈は通し番号の方が探し易いのではないか。

《事務局》 検討する。

(委員) 17 ページのボランティアが利用しやすい図書館コンピュータ・システムとは具体的にはどういったものか？

《館長》 平成 28 年にシステム変更した際、インターネットコーナーや、対面朗読室にあるコンピュータに、テキストを読み上げ等ができるソフトを導入した。

(委員) コロナの関係をどこかに出した方がよいのでは。

資料 4 施策の方向と具体的な取組

《事務局》

波線部分が今回の計画の中で新規の部分である。主な取組については、1 次計画に多少の修正を加えている。

資料に沿って、波線の変更点を中心に説明。

【質疑応答・意見】

(委員) 春川市との図書館の交流はどのようなことを考えているのか。

外国語や外国を理解するための職員の研修はどんなことを想定しているか。

《館長》 引き続き100冊ずつの図書の交換を今後も継続していく。
ハンデルに詳しい職員がいないので、外部に委託している状況。

(委員) 各行事の参加者を増やすということに関して、インターネットでの申し込みなど、ネット環境、リモートを利用した方法を5年間で考える必要があるのではないか。

(委員) コロナ対応で、オンラインの活用が盛んになっているが、行事等のオンライン配信等を検討が必要となってくるのでは。

(委員) 「私たちの目指す図書館像」の文言は、変更はできないか。
5～6年後のことを考えて、「電子化」が強調されなければいけないのではないか。電子書籍の定義とは何か。何をしたいのかが現段階では見えていない。
「アクティブ・シニア」が活躍のできる場・居場所を作ると良いのでは。これまでの知見を持った地元の方たちを講師として迎えるなど、うまく人材活用していったらどうか。ボランティアの育成ではなく、今あるものを充分生かしていくことも必要ではないか。
防府市内の高校生にもしっかりとサービスしていく、巻き込んでいくことが必要。

(6) 今後の予定

《事務局》

次回は10月に開催予定。

8/12(水)までに修正意見連絡票の提出をお願いしたい。